

和の光

宝塚市立西谷中学校



■手話講座～聴こえないってどういうこと～

福祉教育の一環として、加藤めぐみさんを講師にお招きして手話について学習をしました。講座の前半では、私たちが普通に使っている目覚まし時計が耳の不自由な方には使えず、振動で知らせる目覚まし時計を使っていること。幼い頃に学校で友達と会話ができずに困ったこと。20代になって手話に出会い、使えるようになって世界が広がったことなど、貴重な経験を語っていただきました。その後、犬や猫などの動物・あいさつ・学校名について手話でどのように表現するのかを教えていただきました。下記に生徒のみなさんの感想を紹介させていただきます。

（12月23日）

- ・今日学んだことは全て初めて知ったことでした。特に感心したことが2つあります。1つ目は関東と関西で手話が異なるという事です。2つ目は動物の手話は、動物の動きと似ているものがあることです。今日学んだことを今後どこかで使えたらいいなと思いました。楽しい時間をありがとうございました。（2年生男子）
- ・本日は私たちのために、わざわざ西谷中学校まで来てくださりありがとうございました。僕は今日の講習を受けるまでは指文字が使われるのかと思っていました。でも、テレビで使われているのと同じ手話でコミュニケーションをとったので驚きました。今まではあまり詳しくなかった手話について学ぶことができて楽しかったし、家族にも教えてあげたいと思いました。また、関西と関東では手話に違いがあるそうですが、外国でも違いがあるのかなと思いました。この経験を活かしていきたいと思いました。（2年生男子）
- ・本日は手話を知ることができて良かったです。実際に手話をやってみましたが、とても難しかったです。でも、どこかで使う場面があるかも知れないので、頂いた冊子を見て復習をしたいと思います。今日はありがとうございました。（2年生男子）



先生も一緒に学びます



みんな真剣に取り組んでいます



手話をたくさん覚えました



指文字でお礼を述べました

- ・今日は寒い中、ありがとうございます。僕は手話の事を知らなかったの、良い経験になりました。今日の経験を活かして手話ができるようにしたいです。（2年生男子）
- ・今日は西谷中学校に来ていただきありがとうございました。耳が聴こえない（聴こえにくい）人は今までに一人だけしか会ったことがありません。その人はまだ少し聴こえる方だったので、手話は今日初めて見ました。犬や猫、カンガルー、ラッコなどすぐに覚えることができました。質問もさせていただきましたが、手話には手を斜めに立てる動きが多いなと感じました。宝塚市の表し方には驚きました。（2年生男子）
- ・今日は手話を教えてくださりありがとうございました。私は手話の事はあまり知りませんでした。知っていたのは「ありがとう」くらいです。でも、今日はいろいろな手話を知りました。犬、猫、ラッコ、好き、嫌い、西谷中学校など、いろいろと教えてもらい嬉しかったです。手話を覚えるためには5年くらいかかることを聞いて、本当にびっくりしました。聴こえないからたくさんの努力をしたのだと思いました。もっと手話を世界に広めて、手軽に手話で会話ができるようにしたいなと思いました。（2年生女子）
- ・今日の授業で、耳が聴こえない人のためにもいろいろな物が工夫されていることが分かりました。私たちがいつも起きるために使う目覚まし時計は、耳が聴こえない人のために振動で起こしてくれるものがあるという事を初めて知りました。そして、拍手の仕方でも手を叩くのではなく、手を左右に動かすという事を初めて知りました。これから手話を使う機会があったら、加藤先生が言われていたように、気持ちを込めて手話をしたいと思いました。今日は忙しい中、来て下さり本当に有難うございました。（2年生女子）
- ・今まで手話について深く考えたことが無かったのですが、「おはようございます」や「ありがとうございます」などの単語が「あ」「い」等の一つの単語ではなく、その単語だけの手話で話すことが難しかったです。「宝塚市」のように「宝塚」と「市」で別々の手話があるということも学べて良かったです。クイズで学びながら覚えることができたのでとても楽しかったです。目覚ましのかけ方や自分の名前の表現の仕方等、教えていただきありがとうございました。中学校を出て高校に行った時に、もし耳が聴こえない友達がいたら使いたいです。（2年生女子）